

令和6年度 学校評価の結果から

教頭 伊藤 将啓

昨年末に実施した学校評価に御協力いただきましてありがとうございました。

今年度の回答率は、生徒80,9%（全校生徒591名）、保護者75,1%（家庭数551名）でした。集計結果を学校HPに掲載しましたので御覧ください。

昨年度までの回答方法は、「あてはまる」「どちらでもない」「あてはまらない」の3段階でしたが、今年度は「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階に変更いたしました。

アンケートの結果につきましては、概ね肯定的な評価をいただきました。その中で三者ともに肯定的な回答が高いものは、「人に優しく思いやる気持ちをもって人と協力して生活している」や「学校行事の充実」、「校舎内外の施設や学習環境を整えるように努めている」となりました。これは、学校行事が感染症拡大前の状態に戻して実施できたことや新校舎での学習環境が整備されたことなどが考えられます。一方で肯定的な回答が80%未満の項目については、以下に示す通りとなり、今後の課題として捉え、改善に努めてまいります。

【めざす生徒像】		生徒	保護者	教職員
1	意欲的に家庭学習を行っている。	67%	57%	73%
2	自らの健康増進と体力向上に努めている。	78%	該当なし	89%
【教育活動】		生徒	保護者	教職員
3	授業はわかりやすく、その内容を理解できている。	92%	70%	100%
4	授業では、板書やICT機器（TV,PC,タブレットなど）の活用が工夫されている。	94%	78%	98%
5	学校は、学習内容や評価について分かりやすく伝えている。	該当なし	75%	該当なし
6	学校は、担任だけでなく、いろいろな先生と相談できるようにしている。	95%	76%	100%
7	学校は、食事や睡眠、歯磨きの習慣等健康や食について指導している。	91%	75%	該当なし

【めざす生徒像について】

生徒、教職員、保護者の三者が唯一下回ったのが「意欲的に家庭学習を行っている」でした。家庭学習を定着させるために、生徒が学習意欲を高められるよう授業の改善を行います。また、タブレットを活用してのeライブラリを推奨し、家庭と学校が連携しながら学習習慣の定着を図ってまいります。

健康増進と体力の向上については、教育活動全般を通して、生涯にわたって自らの健康の保持増進につながるよう、生徒自身が興味関心をもてるよう指導をしてまいります。

【教育活動について】

授業において基礎・基本を今まで以上に大切にし、生徒に「できた」「わかった」の経験を多く積みせられるよう、板書やICT機器の活用を工夫し、授業改善を行うとともに学習内容の定着を図ります。

教育相談につきましては、年3回いじめアンケート実施後に全ての生徒と実施しております。いつでも、どこでも、誰とでも相談できる体制を見直し、安心して生活できる環境を整えていきます。

健康や食に関しての指導については、生活習慣予防講座や思春期講演会、委員会活動等で指導を行っておりますが、保護者の方へも講演会の参加募集や保健だより、給食だより等で周知いたします。

【次年度に向けて】

今年度は、学校から積極的に情報を発信することを心がけ、HPの更新や旧校舎お別れ会、新校舎内覧会など保護者の方だけでなく地域の方々にも、学校に足を運んでいただく機会をつくりました。

次年度におきましても、これまで以上に「地域とともにある学校」を目指し、第二中学校を支えている生徒・保護者・地域の方々とのコミュニケーションを十分に図り、三位一体となって生徒理解に努めながら、楽しく学べる学校づくりを目指して教職員一丸となって努力してまいります。

本校をより良くしていくためにいただいた御意見や御相談につきましては、検討や改善を図ってまいります。今後もよろしくお願いいたします。